

# 第十回良寛・国上寺全国俳句大会

ジュニアの部

## 大賞

### 秋風や堅城の崖高くなり

名古屋高等学校二年 今野巧海

〈選評〉 堅城（けんじょう）とは守りの堅い城のこと。山城で敵を寄せつけぬように聳えている。秋風の吹く頃には更に崖が切り立って、一層高く感じられる、という句。上手いの一言。

## 入選

### 風鈴の音色の横で眠りけり

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 當摩想

〈選評〉 音色という見えざるものをあたかも“モノ”風に捉え横で眠ったと表現。

### 太陽は朝早くからフルパワー

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 須貝恭兵

〈選評〉 人間のように起きたてでグズグズはしていない。即、稼働するあのエネルギーにあやかりたいもの。

### ひなんしる爆発するかもビンラムネ

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 高橋華恋

〈選評〉 中七が中八で少々弛んだが、ラムネ瓶のことをビンラムネとあたかもビンラディンの名をパクったかのような可笑しさがある。

### 虫籠に別れを告げて旅支度

名古屋高等学校二年 三宅航暉

〈選評〉 愛着のある虫籠にいつまでもかかずらあっている訳にはいかぬ。そろそろ出発の時間。この作者、これから夏にも別れを告げて旅に出る。カッコイイ。

## 炎天や併結電車別れをり

名古屋高等学校二年 鬼頭孝幸

〈選評〉 連結電車と読んでいいか。灼けた鉄製のかたまりの電車がゆるりと離れていく。炎天がよく効いている句。

## ペリペリと日焼けの耳の剥がれゆく

名古屋高等学校三年 北本晃大

〈選評〉 耳の皮は薄くて日焼くるとすぐにはがれてくる。ペリペリというオノマトペがその質感をよく表している。

## 冷房はPC冷やすためだけに

日本大学一年 佐藤美聖

〈選評〉 パソコンは直ぐに熱をおびる。部屋の冷房はパソコンの為にある、と言いきったところが現代的。

## てふてふの影てふてふを見失ふ

名古屋高等学校三年 原田駿

〈選評〉 本体とその本体の生む影の句はよくあるが、影の方が取り残されたかたちで、本体の蝶は敏捷でいなくなったというレトリカルな句。

## 煮小豆の底なる小豆色の水

新潟大学一年 網嶋聡一郎

〈選評〉 小野あらた風なトリビアルなところに目をつけた。しっかり物を見る、観察することから句は生まれる。

## ぶらんこや今日は明日の昨日なり

早稲田大学二年 三嶋浩樹

〈選評〉 よく吟味しないと何を言っているか。パツと判るタイプの句ではない。明日になってみれば今日は過ぎ去った昨日になる。ぶらんこは今現在乗っているのだが、すぐ今日は終わり過去のことになることを言っている。

投句作品集

原型の無きハンケチをほをりけり 名古屋高等学校二年 木村功汰

カルピスの底蒼々と風光る

じぶそばに群がる野郎共の夏

駄々草な金箔ソフト青嵐

入学しました補助輪取れました 新潟県立巻高等学校三年 狩野駿斗

油虫叩くスリッパ初仕事

木下闇の中足しか見へぬ人

風薫る先ここは秘密基地跡

セミの声急に止まるがまたひびく 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 富樫樹生

スイカ割りしたことないがしたくない

祖父は見た小人が増える夏の海

夏休み部活がない日は寝てすこす

夏や来ぬ花火の音で青春だ 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 永井真聖

甲子園日本文理がリベンジだ

外で鳴くミンミンゼミが元氣よく

降りそそぐ人工芝に太陽が

変わらずに友とバカやる夏休み 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 増子温人

鳴り止まぬ庭の音色はセミの声

夏祭り君のこと呼ぶ人ごみの中

頭痛いでも止められないかき氷

浜辺にて弟おぼれる兄に似て 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 松本桜

せみの声燃えるように生きている

電気代冷える空気と親の顔

魚のよう泳いでみせるカーテンが

練習で目の前ゆがむ熱中症 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 宮村翔

部活後のアイスクリーム絶品だ

寝たいけど部屋がむしむし熱帯夜

夏祭り早く行きたいでも部活

蝙蝠が私の家で迷子中 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 石井愛子

金魚すくいポイと心に穴が開く

恋に落ちアイスも心も溶けていく 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 石井愛子

心太勢いよく吸い酔でむせる

夏や来ぬ赤く染まりし日本海 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 當摩想

風鈴の音色の横で眠りけり

虫の声こだましている夏の夜

青い空ひときわ目立つ入道雲

更衣なんだか大きい我が子の背 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 遠山俊介

炎天下影の中での大冒険

夏休み夢を見てると日が暮れて

さあクイズ蝉が蝸だれの声?

引きこもり夏の暑さはちめいしよう 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 小野真吾

足たたく耳に近づく蚊の音色

日本人令和の夏はどうすこす

夏祭り無駄にお金を使う日だ 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 須貝恭兵

雨の後木陰で見つける蝉の殻

夏の夜空に開いた光る花

いつの間に伸びた向日葵元氣よく

太陽は朝早くからフルパワー 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 益川幸大

大人でもやはり嫌いだやめてよ蚊

父の夜あと一杯が終わらずに

アイス食べ俺らの希望は当たりくじ

野球部の天の救いは梅雨の時期 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 五十嵐翔空

夏休み何かが臭い足むれた

スイカ食べ陽気がやるよ種とばし

たれてるよアイスクリームはよ食べて

最近のインスタグラムタピオカや 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 中山笑有

夏祭り心もきつと晴れ模様

ひまわりと君と私のかくれんぼ

夏や来ぬ太陽からのプレゼント

映えが増す浴衣姿で写真撮る

熱忘れ昼寝する部屋海の底  
幻の蛍が二人を包みこむ  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 本間新菜

心太となりの家には心太くん  
ラムネからのぞく世界は夏色に  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 本間春奈

プレゼント親戚の子へ蟬の殻  
横になり午睡の武器は蠅叩  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 本間春奈

祖母作の素麺すすりありがとう  
雨蛙声で導く雨模様  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 桐澤春菜

探してゐる法被姿と君の香を  
かくれんぼ祖父母の記憶車夢螢  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 桐澤春菜

「暑いから」火照った頬をこまかした  
ちぐはぐな借りたサンダル時止まれ  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 鈴木大輝

部活後は上裸になつて水遊び  
眠いのにならジオ体操うるさいな  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 鈴木大輝

かき氷こぼした所虫たかる  
梅雨になりバッシュがすべり転びそう  
映えるパフェそれより私は水ようかん  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 高橋華恋

カメラロールゆかたがおどるげたの音  
ひなんしろ爆発するかもピンラムネ  
ワンピース泳ぐその先水がにげる  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 鶴巻羽華

夏花火夜空に輝き皆照らす  
天の川ちりばめられた宝石だ  
夏空に溶ける想いは届かない  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 富樫美月

六月のアイスクリーム恋の味  
砂浜で走るあなたを追いかける  
風が吹き風鈴が鳴り猫狙う  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 富樫美月

似合うねと褒められたくて浴衣着る  
肝試し潔癖な君も手を握る  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 片野伊吹

向日葵がはなし聞いている太陽の  
蟻の道闘争を待つ即売会  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 片野伊吹

祭りの日金魚が泳ぐ服の中  
冷房をつけたら人はナマケモノ  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 片野伊吹

螢丸幼き体軀でどこまでも  
恋人がゆっくり言うのは熱中症  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校二年 菅原初花

あお向けの蟬は爆弾生か死か  
線香は火花か蚊取か仏だんか  
緑の葉太陽さしこむスポットライト  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 加藤実結

静かにしてミンミンゼミが鳴く季節  
黄一色向日葵畑に麦わらぼうし  
梅雨の時期電車の中に傘一人  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 斎藤瑠月

梅雨の日のくもの巣はまるで宝石だ  
夏祭り街も夜空も真っ赤っか  
木の下は桜も人もいっぱいだ  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 鳥井優樹

夏祭りまわりはみんな彼女もち  
クーラーがなければ俺は死んじまう  
遊ぶ子の頬は色づきさくらんぼ  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 五十嵐陽音

目を細め陽を見上げるは向日葵が  
夜に浮かぶどこか切ない螢火や  
夕暮れの空は紫陽花七変化  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 佐藤悠芽

ゴキブリが 先生の家に 出てきたよ  
甲子園 熱く燃えてる 球児たち  
みつたぞ手にとつてみたらゴキブリだ  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 相馬尚利

近すぎる低空ひこうカブトムシ  
ひびきけり夜のしずけさに風鈴の音  
おどりますあたしさくらんぼ兄弟で  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 阿部裕大

転んでも何度でも立て紅蓮華よ  
熱帯夜体が解ける暑ける  
玉ねぎはいっぱい切ると目にしみる  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 本間滉大

肝試し暗闇潜む悪い人  
新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 本間滉大

日焼けして記録更新七段階 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 本間滉大

ゴキブリよあなたを一生見たくない 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 増子隆太

水槽でスイスイ泳ぐメダカさん トマトちゃん赤くて真ん丸かわいいな 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 増子隆太

かき氷頭がキーンとなっっちゃうよ 幽霊はほんとにいるかなどうだろう？

金魚さん水泳大会楽しそう 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 阿部羽玖

扇風機ずっと回って大変だ 少年の見つけたお宝カブトムシ

太陽の光で輝くラムネびん 夏の朝顔共に顔を出す 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 佐藤亜美

夏の空とても綺麗なラムネ色 風鈴は夏を彩るミュージシャン

夏の空華麗に散りゆく夜の花 子供たち空を見上げて花火待つ

満点の星空模様花火かな 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 高橋美里

風鈴の眠りを誘う心地よさ 向日葵の目に鮮やかな黄金色

向日葵の目に鮮やかな黄金色 水面がキラキラ輝く金魚鉢

虹映える雲ひとつない青のなか カブトムシ虫取網で格闘中

ゆらゆらとゆれて泳ぐ海月達 飛び跳ねて雨を喜ぶ雨蛙

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 稲葉凌

川の中流れに負けぬめだかの子 風鈴の音が鳴らない僕の部屋

汗だくでボールを追った部活動 空だった金魚鉢に赤ひとつ

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 小形真唯

サンダルをはいて飛び出す子どもたち くれ違う人は片手に扇風機

せみでさえ夏の暑さでしんみりと

向日葵や暑さに負けず上を向く 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 小田望

五月雨に二羽の蝙蝠身を寄せて サンダルがペタペタと鳴る犬つれて

縁側で日陰を探すとかげかな 高校野球波乱が起こる集大成

甲子園熱い戦い乱打戦 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 長隼翼

快晴日上見上げれば虹アーチ 海の波浮かぶサンダル僕みたい

暑い日に子どもにも戻るカブトムシ 夏祭り晴れをおくれよアマガエル

夕焼けに夏を感じる海の音 朝日見て目を開け開く朝顔よ

夏になり緑の浴衣を着る桜 すぐ乾くコンクリートに打水は

肝試し後ろにいるよ小さい蚊 授業中蚊が集合か私のみ

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 細野あこ

愛猫よすり寄らないで熱帯夜 帰宅後宿題置いてつい昼寝

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 渡邊拓海

長話外から遮断油蟬 学校にきてもつかないエアコンが

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 渡邊拓海

もより駅人いて暑い白い服 汗流すさいふの小銭無くなった

先生がとくにうるさい最後の夏 ついに来たこれから始まる蟬の合唱

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 板垣舞夕

朝起きてラジオ体操すぐ布団 サンダルを奪って投げた明日晴れ!

暑い今冬の田んぼに飛び込みたい 空見上げ大きい花火打ち上げる

向日葵が太陽を見て笑ってる 朝起きてラジオ体操終わってる

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 浮須彩代

川のぞき良く見てみたらメダカの子 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 浮須彩代

月明かりまぶしく寝れぬ熱帯夜 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 齋藤永吏

雨蛙窓辺に感じるこの季節

夏空にきらりと光る流れ星

甲子園熱く燃えてる球児たち

輝きを最後に魅せる大花火

汗流し風を駆け抜け走る夏

砂浜の城に埋めた夏の恋

風鈴の音色に誘われ夏が来る

風に乗る風鈴の音何処から

軒先きの打ち水をする母老いて

生まれ出で短し夏は七日間

夜の海淡く輝く月海月

海にきてきれいな人に胸躍る

せせらぎの音に混じりて蛩とぶ

夕立や去った空には光る虹

風鈴の音色に誘われ夏が来る

冷蔵庫ここはガリバーの国らしき

サルビアや朝っぱらから部室塔

秋風や堅城の崖高くなり

海の日や母のグラタン広々と

夏の潮国道沿いの白き家

夏旺ん新発売の菓子食らふ

玉ねぎや醤油差しの口光る

虫籠に別れを告げて旅支度

大空を睨み返したる磯蟹

水郷に雷響く昼日中

夕飯に濁りの深き新茶かな

炎天や併結電車別れをり

歯の痛し喉を抜けたる氷菓かな

秋暑しアキレス腱の壊れゆく

ペリペリと日焼けの耳の剥がれゆく

夏を跳ぶあをぞらに手が届くやう

イヤホンのバード春昼の車窓

冷房はPC冷やすためだけに

犯人の虚構の広まつてゐて冷夏

夕焼や性別不明焼死体

毛虫這ふ推理小説第二章

我が足跡のみ残るなり秋の浜

てふてふの影てふてふを見失ふ

先生と彼と私と金魚鉢

煮小豆の底なる小豆色の水

手花火の光消えたるカーブミラー

黴剥げて指の狭間に溜まりけり

沈黙の浜辺や西瓜割りきれず

左右に山あれば深きぞ秋の空

ぶらんこや今日は明日の昨日なり

レモン水ぬるむ世間に愛の欲し

しにたくないねしにたくないね ヒヤシンス

名古屋高等学校三年 北本晃大

日本大学一年 佐藤美聖

名古屋高等学校三年 原田駿

新潟大学一年 網嶋聡一郎

早稲田大学二年 三嶋浩樹

名古屋高等学校三年 北本晃大

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 鈴木混介

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 藤田康誠

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校三年 今野巧海

名古屋高等学校二年 三宅航暉

名古屋高等学校二年 鬼頭孝幸

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大

名古屋高等学校三年 北本晃大